

第19回埼玉県少女サッカーフェスティバル実施要項

1. 目的

本大会を通じて競技者や指導者に対して技能の研鑽や他チームとの交流の機会を与えることによって、地域社会の健全な発展を助けサッカースポーツを通じて心身の健全発達に寄与することを目的とする。

また、男子チームに所属する女子選手への参加の道も開くことにより、さらに多くの選手・チームが参加し、女子選手同士の試合を通して広く交流する機会を増やすことも目的とする。

2. 主催

公益財団法人埼玉県サッカー協会

3. 主管

公益財団法人埼玉県サッカー協会第4種委員会

4. 運営

第19回埼玉県少女サッカーフェスティバル実行委員会

5. 期日

4月～7月の中で大会運営者が定める日時

(大会期間中において、参加チームの学校行事予定などにより変更の可能性もあり)

6. 会場

県内各会場

7. 参加資格

(1)出場選手は、(公財)埼玉県サッカー協会に登録された12歳以下の女子小学生であること

(2)期限内にエントリーされた選手のみが出場資格を有する

ただし新規登録選手および転居に伴う移籍選手は、運営責任者に対し書面で申請し認められた場合に限り追加選手として出場資格を得ることとする

(3)出場チームは、試合会場に出場選手の選手証又は登録選手一覧(顔写真のあるもの)を印刷し持参することとし持参できない選手、また選手証等に顔写真の無い選手は試合に出場できないなお、スマートフォン・タブレット等電子媒体での確認は認めない

(4)出場チームは、(公財)埼玉県サッカー協会に登録された選手で構成されたチームであれば単独チーム・合同チームなどを問わない。ただし選抜チームは認めない

(5)4月10日(土)までにチームエントリー表、メンバー表を下記まで送付すること

<大会事務局> g01@g-fa.net

8. チーム編成

(1)大会に出場するチームの選手数は、試合毎に1チーム16人以内とする

- (2)決勝トーナメントに出場できる選手は、予選リーグで出場チームの選手としてエントリーし、ベンチ入りした選手であること
- (3)上記に適合しない行為があった場合は、本大会への出場を認めないそれ以降の処置については本大会の規律フェアプレー委員会で決定する

9. 競技方法

- (1)大会の形式は、参加チーム数が確定した後に例年の形式に準じるとともに新型コロナウイルス感染症対策を考慮した形式を検討し参加チームに告知する。
- (2)(公財)日本サッカー協会発行の「8人制競技規則(最新版)」を適用する
- (3)試合球は4号ボールとする
- (4)試合時間は15分ハーフとし、ハーフタイムインターバルは5分間とする
リーグ戦は勝点数〈勝試合=3点/引分試合=1点/敗試合=0点〉・得失点・総得点・当該チームの対戦成績・これでも順位が決まらない場合は、3人制のPK戦を行なうトーナメント戦は試合時間内に勝敗が決しない場合には、3人制のPK方式により勝敗を決する
- (5)出場選手数が6人に満たない場合は試合を不成立とする
そのチーム全ての試合を不戦敗扱い(スコア0対5)とする
- (6)キックオフから直接相手のゴールに入った場合は、相手にゴールキックが与えられる
- (7)グラウンドの大きさは縦68m×横50mとし、ペナルティエリアは12m、ゴールエリアは4mで、センターサークル及びペナルティアークの半径は7m、ペナルティーマークは8mとするゴールの大きさは少年用サイズのものを使用する
- (8)選手交代は、試合開始前に最大8人までの交代要員の氏名を審判に通告しておき、インプレー中でも指定されたエリア内で自由に選手交代をすることができる。この交代選手の出退や交代回数は自由な交代制に基づく
- (9)本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律フェアプレー委員会で決定する
- (10)本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場出来ない
- (11)選手が退場を命じられた場合、そのチームは交代要員の中から選手を補充することができる
- (12)ベンチに入ることができる要員は、試合毎に提出されるメンバー票に記載された交代要員を含む16名以内の選手、コーチングスタッフ3名までとし、保健要員1名を追加することができる
- (13)試合中にテクニカルエリアから戦術的指示ができる指導者は、他の指導者と識別できるビブス等を着用した1名のみとする
- (14)メンバー票は試合毎に開始時間30分前までに大会本部へ2部提出し、運営委員と主審立会いの下に、使用ユニフォームの決定を行う(ユニフォームチェックはカラー写真でも可)
- (15)メンバー票記載選手は試合開始10分前に本部前に選手証又は登録選手一覧(顔写真のあるもの)を持参し、メンバー票記載選手全員の本人確認や安全確認をうける。なお、スマートフォン・タブレット等電子媒体での確認は認めない
- (16)選手交代カードは使用しない。選手交代は指定されたエリア内で行われ、退場選手がこのエリアに入った後でなければ交代要員選手がピッチ上に入り試合に参加することはできない

10. 選手の用具について

- (1) 本大会に登録したフィールドプレイヤー、ゴールキーパーそれぞれ正・副2組のユニフォーム（シャツ・ショーツ及びソックス）を会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。正・副の2色については、明確に異なる色とする
- (2) ユニフォームには、大会期間中同一の選手固有の番号をつける。また、ゴールキーパーについても同様とするなお、背番号は貼り番号でも可とするがピン留めなど選手に危害を及ぼす恐れある金属類の使用、方法は不可とする
- (3) パンツにも背番号と同じ番号をつけることが望ましい
- (4) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合には、ソックスと同色でなくてもよいが、他の選手に危害を及ぼすことのない材質でなければならない
- (5) アンダーシャツ、アンダーショーツ及びタイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する

11. 審判について

- (1) 審判員は、主審と副審2名および第4の審判員の4名の構成とする
- (2) 審判員は、出場チームが2名以上帯同する審判員が審判割当に従い審判を担当する
ただし、決勝トーナメントにおいては、大会実行委員会が派遣依頼した審判員が担当する場合もある
- (3) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チーム立会いのもとに、コイントス等の方法によりその試合において着用するユニフォームを決定する
- (4) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちからシャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを任意に決定することができる

12. 試合会場における傷病について

大会実行委員会は応急処置に協力するがその処置については当該チームの責任とし、出場選手は各自スポーツ安全保険等に必ず加入していることを前提とする

13. 天候による処置について

- (1) 試合の停止や中止及び開始に関する決定は、当該試合の審判員の判断によるものとする
ただし、これについて大会実行委員会が助言できるものとする
- (2) 試合中の飲水は、選手の健康状態を考慮し必要により飲水タイムをとる
- (3) 雷対策の処置は次のとおりとする
 - ① 試合開始前から雷鳴が聞こえ落雷の恐れがあると判断した場合は、試合開始を停止し、次の試合開始予定時間15分前になっても落雷の恐れが継続している場合、当該試合は延期として別途試合の予定を大会実行委員会を設定する。これに伴いその後の各試合開始予定時間が変更される次の試合開始予定時間の15分前までに試合開始可能と判断できた場合は、規定時間での試合を開始する場合、以降の試合はそれぞれ遅れて開始される
 - ② 試合開始後に雷鳴が聞こえ落雷の恐れがあると判断した場合は、即刻試合は中断する。この中断が15分以上続いた場合、試合は中止される。この試合の結果処理は下記のとおりとする
 - 1) 試合の中止が試合の前半が終了後であれば、試合が中止された時点での勝敗と、スコアがその試合の結果となる

2)試合の中止が試合の前半終了前であれば、その試合は不成立試合とし、後刻もしくは後日の再試合となる再試合の予定は大会実行委員会で決定する

14. 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 会場での滞在時間は、必要最小限にとどめ、出入りについては、速やかに行うこと
- (2) 会場内では、他チームと密となる接触を避ける行動を心掛けること
- (3) 会場内では、ウォーミングアップや試合中の選手を除きチーム関係者は、マスクエチケットを心掛けること
- (4) 発熱等新型コロナウイルス感染を疑われる症状のある選手、指導者等チーム関係者の参加は控えること
- (5) 選手同士が密となる円陣やミーティング、試合中のベンチ、客席からの歓声、密状態での応援などは控えること
- (6) その他一般的な感染予防、感染拡大防止対策について、各チームにおいて適切な配慮を行うとともに、大会運営者より発出される会場特有の対応依頼等について順守すること

15. 表彰

- (1) 試合成績上位のチームチームには表彰状および表彰品を授与する
- (2) 前項に該当する成績上位のチームについては、大会形式等とともに決定する

16. 懲罰

実施要項の各条項が守られない場合、または本大会の運営にあたり不適切な行為などがあった場合には、本大会の規律フェアプレー委員会において審議する

17. 代表者会議

新型コロナウイルス感染症対策のため代表者会議は行わない

組み合わせ抽選については、少女部会役員の立会いのもと、実行委員会による代理抽選を行う